

しょうがくせい      ともだち  
小学生のお友達へ

7/6 ~ 7/19 までの<sup>せいしょ</sup>聖書のかしよをおくります。

<sup>せいしょ</sup>聖書をひらいてよんでください。

よ      あと      かみさま      いの  
読んだ後にどんなことでも神様にお祈りしましょう。

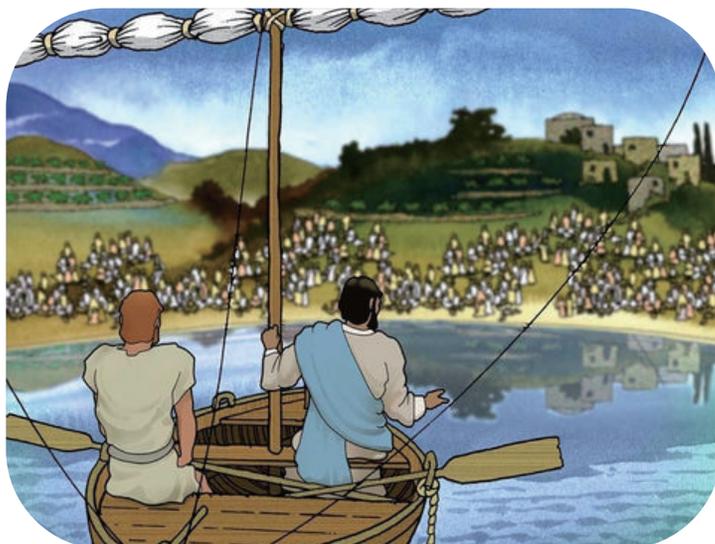
もりゆうこ



7月6日 (月)

ふくいんしょ    しょう      せつ  
ルカの福音書 5 章 1 ~ 3 節をよみましょう。

シモンとはペテロのことでおなじひとです。



7月7日 (火)

ルカの福音書 5章 4～6節をよみましょう。

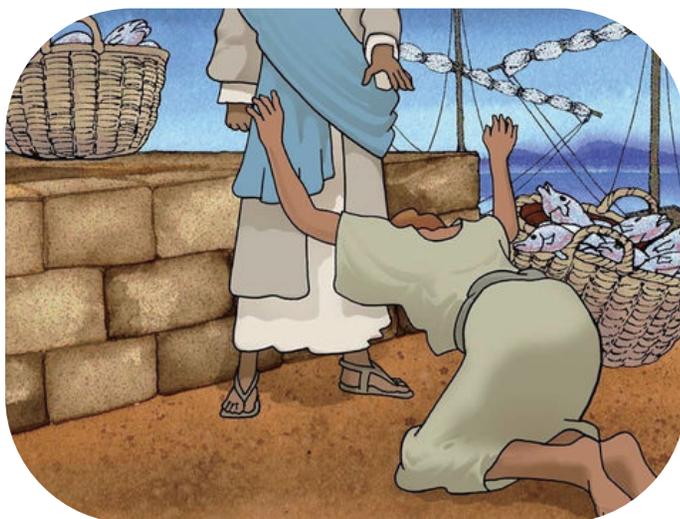
ペテロたちはよるもねないで、おさかなをとりましたが  
一匹もとれませんでした。でもイエスさまがいわれた  
とおりにしたら、たくさんのおさかながとれました。



7月8日 (水)

ルカの福音書 5章 7～8節をよみましょう。

ペテロはどうして「私は罪深い人間ですから」  
といたったのでしょうか。



7月9日 (木)

ルカの福音書<sup>ふくいんしょ</sup> 5章<sup>しょう</sup> 9～11<sup>せつ</sup>節をよみましょう。

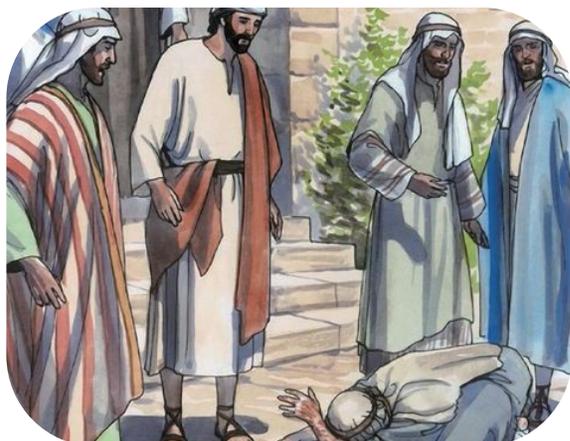
人間<sup>にんげん</sup>をとるようになるとはどういうことでしょうね。



7月10日 (金)

ルカの福音書<sup>ふくいんしょ</sup> 5章<sup>しょう</sup> 12～13<sup>せつ</sup>節をよみましょう。

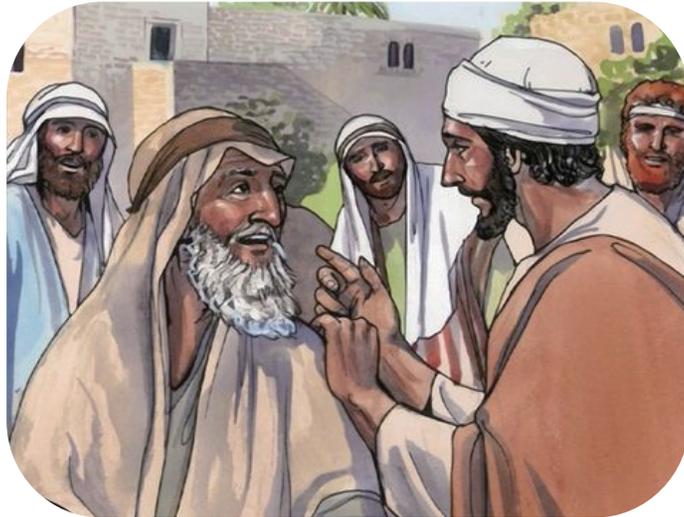
イエスさまはびょうき<sup>ひと</sup>の人にさわってくださいました。



7月11日 (土)

ルカの福音書<sup>ふくいんしょ</sup> 5章<sup>しょう</sup> 14～16節<sup>せつ</sup>をよみましょう。

イエスさまはびょうきがなおったひとに、  
だれにもはなしてはいけないといわれました。



7月12日 (日)

ルカの福音書<sup>ふくいんしょ</sup> 5章<sup>しょう</sup> 14～16節<sup>せつ</sup>をよみましょう。

イエスさまはよくひとりですびしいところに  
いっておいのりしておられました。

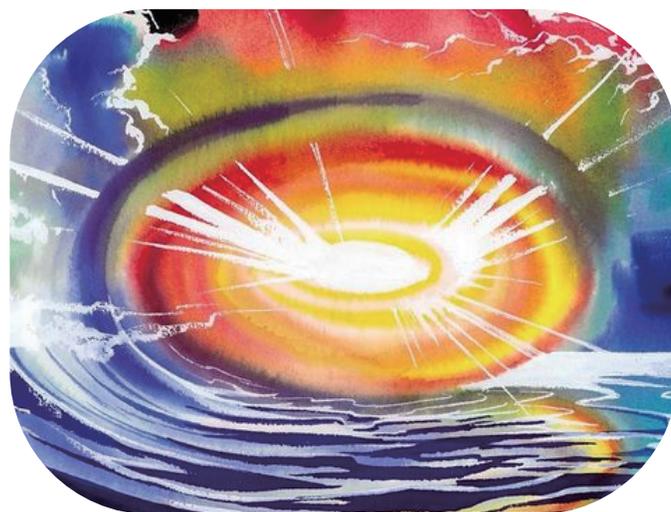


7月13日 (月)

ヨハネの福音書<sup>ふくいんしょ</sup> 1章<sup>しょう</sup> 1～5節をよみましょう。

「ことば」は神の子キリスト(イエス様)<sup>かみ</sup> <sup>こ</sup> <sup>さま</sup> のことです。

永遠<sup>えいえん</sup>のはじめから父なる神<sup>ちち</sup> <sup>かみ</sup> <sup>さま</sup> といっしょにおられました。

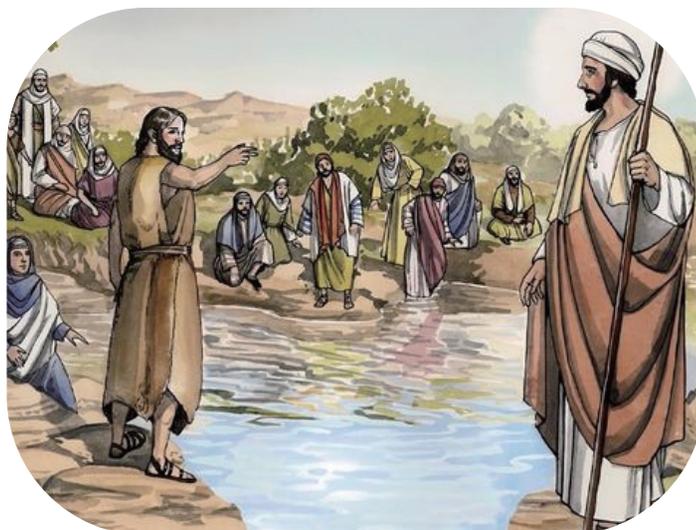


7月14日 (火)

ヨハネの福音書<sup>ふくいんしょ</sup> 1章<sup>しょう</sup> 6～8節をよみましょう。

バプテスマのヨハネという人<sup>ひと</sup> がいました。

この方は、神の子キリストを、<sup>かた</sup> <sup>かみ</sup> <sup>こ</sup> さししめします。



7月15日 (水)

ヨハネの福音書<sup>ふくいんしょ</sup> 1章<sup>しょう</sup> 9～13節<sup>せつ</sup>をよみましょう。

神の子<sup>かみ</sup>キリスト<sup>こ</sup>を信<sup>しん</sup>じて、その<sup>ひと</sup>ころにおむかえした人  
は、神の子<sup>かみ</sup>ども<sup>こ</sup>としていただけます。

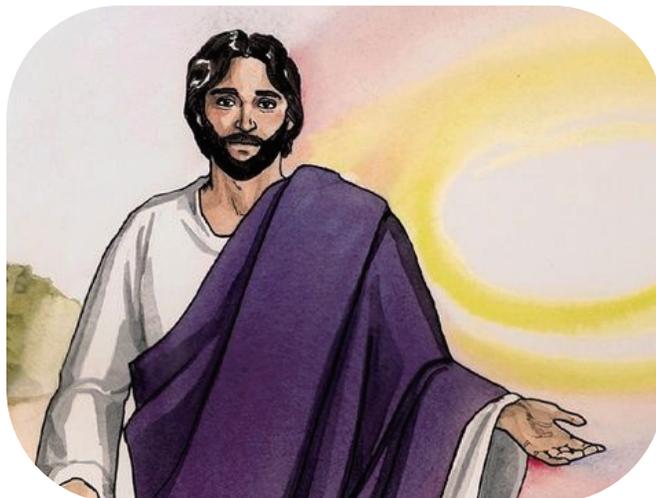


7月16日 (木)

ヨハネの福音書<sup>ふくいんしょ</sup> 1章<sup>しょう</sup> 14～18節<sup>せつ</sup>をよみましょう。

「ことば」(イエス・キリスト)は、人<sup>ひと</sup>となって

この世<sup>よ</sup>にこられ、私<sup>わたし</sup>たちといっしょ<sup>す</sup>に住んでくださいます。



7月17日 (金)

ヨハネの福音書<sup>ふくいんしょ</sup> 2章<sup>しょう</sup> 1～5節<sup>せつ</sup>をよみましょう。

ガリラヤのカナでけっこんしきがありました。

イエス様<sup>さま</sup>とイエス様の母<sup>さま</sup>マリア<sup>はは</sup>も出席<sup>しゅつせき</sup>しています。



7月18日 (土)

ヨハネの福音書<sup>ふくいんしょ</sup> 2章<sup>しょう</sup> 6～8節<sup>せつ</sup>をよみましょう。

イエス様は、「水<sup>みず</sup>がめに水<sup>みず</sup>をいっぱい<sup>いっぱい</sup>にきなさい」と

い<sup>い</sup>言<sup>い</sup>われました。おてつだい<sup>おてつだい</sup>の人<sup>ひと</sup>たちは、

イエス様<sup>さま</sup>に言<sup>い</sup>われたとおりに水<sup>みず</sup>をいっぱい<sup>いっぱい</sup>にくみました。



7月19日 (日)

ヨハネの<sup>ふくいんしょ</sup>福音書<sup>しょう</sup> 2章 9～11節<sup>せつ</sup>をよみましょう。

イエス様は<sup>さま</sup>水<sup>みず</sup>が<sup>みず</sup>めの水をぶどうしゅに<sup>か</sup>変えられました。

こうして、イエス様は、<sup>さま</sup>最初の<sup>さいしょ</sup>しるしをガリラヤのカナで  
おこなわれました。

